

今号のTOPICS

- 第8期総会を開催
- 自動認識市場規模調査報告書を発刊、配布
- JAISA 新役員体制
- 展示会開催のご案内、事務局日より
- 新規入会企業ご紹介

第8期総会を開催

平成30年5月23日(水)、品川プリンスホテルにて、第8期総会を開催。平成29年度の事業報告及び決算案の審議と、新任理事の選任を審議、承認された。また、平成30年度の事業計画及び予算についての報告が行われた。



第8期総会の模様

《3つの議案を審議・承認》

16時00分の定刻に至り、西田副会長の開会宣言に続き、春山会長の挨拶があり議長として議事を進めた。

正会員111社中88社より議決権行使書を頂き出席社は33社であった。議事録署名人は、出席会員の中から、NECプラットフォームズ株式会社と、凸版印刷株式会社が満場一致で選任された。

■承認された総会の議案

【第1号議案】平成29年度の事業報告書及び収支決算書について。

平成29年度事業報告書及び収支決算書について事務局から詳細な説明がなされた。その後、監事よりの監査報告を小森谷 豊監事が監事を代表し、適法かつ適正である旨の監査報告を行った。同書類は全員一致をもって承認可決された。

【第2号議案】 定款第24条1項に基づく新任理事の選任について

議長より理事新任1名について議場に諮り、全員一致をもって承認可決した。

選任された理事：池田 隆之 氏

総会後の平成30年度第1回理事会にて、副会長の古村氏を常勤の専務理事に任ずることが諮られ、全員一致で承認された。

平成30年度役付役員	
代表理事・会長	春山 安成 氏 (株) マーストーケンソリューション
代表理事・副会長	西田 浩一 氏 サトーホールディングス(株)
専務理事	古村 浩志 氏 NECプラットフォームズ(株)
常務理事	横田 修治 氏 日本自動認識システム協会

理 事				五十音順
荒木 勉 氏	東京理科大学 大学院	池田 隆之 氏	東芝テック(株)	
伊沢 太郎 氏	凸版印刷(株)	市野 将嗣 氏	電気通信大学	
梅田 俊郎 氏	(株) ウェルキャット	岡田 幸紀 氏	アイメックス(株)	
小沢 慎治 氏	慶應義塾大学	九野 伸 氏	(株) 日立製作所	
佐藤 誠 氏	東芝テック(株)	塩川 恵一 氏	(株) リコー	
平本 純也 氏	アイニックス(株)	藤吉 幸司 氏	(株) デンソーウェーブ	
宝代 将人 氏	(株) フェニックス	松森 邦彦 氏	富士通フロンテック(株)	

監 事			
小森谷 豊 氏	税理士法人レインボー	住吉 義勝 氏	オカバマーケティングシステム(株)

【事務局報告】 平成30年度事業計画書及び収支予算書

事務局より平成30年度の事業計画及び収支予算についての報告が行われた。

16時30分に総会は閉会した。



■ 多くのご来賓、会員企業が集う、第8期総会懇親会

17時から、会場を移して懇親会を開催した。

はじめに、主催者を代表して、春山代表理事会長が、さらなる業界の発展のために努力を続けるとともに会員以外に自動認識をPRする必要があり、自動認識システム大賞への応募、資格試験の拡大、研究開発の認知度を上げていき、今年度も「会員企業第一主義」で活動すると挨拶した。続いて、ご来賓を代表して経済産業省 製造産業局 産業機械課課長 片岡隆一様より、生産、医療、物流等の省力化で自動認識は重要であるが、昨年度の市場統計数値の伸びが前年比0.2%は低く、20%以上の伸びを期待するとの叱咤激励のご挨拶を賜った。

その後、西田浩一代表理事副会長の発声で乾杯し、開宴した。

懇親会には、ご来賓、会員をあわせて160名が参加。各々情報交換や歓談を楽しんだ。

宴もたけなわのころ、新理事、新規入会企業の紹介が行われ各々ご挨拶をいただいた。



経済産業省 製造産業局 産業機械課
課長 片岡 隆一様



西田代表理事副会長



春山代表理事会長



古村副会長



新規入会企業の皆様



懇親会の模様

平成29年度、30年度新規入会企業のご紹介

株式会社モフィリア

生産戦略グループ長 碓氷 吉伸 様

会社概要

当社は、ソニー独自の指静脈認証技術を持って、2010年12月に独立しました。
 先端の静脈認証技術をデバイスとソフトウェア開発キット(SDK)で提供し、パートナー企業様と共に、
 世界中のエンドユーザ様に安全で快適な本人確認ソリューションを展開しております。

当社の自慢

技術ベンチャーとしての機動力を活かし、全世界のユーザ様の望む静脈認証ソリューションを構築するために、ご希望の
 分野や使い方に応じて、組むパートナーを柔軟に変えて高い顧客対応力を発揮して参りました。
 静脈認証デバイスやSDKも用途に合わせた種類を取り揃えております。
 今後も静脈認証による安全・便利な社会が実現できるよう貢献していく所存です。
 どうぞよろしくお願い致します。



据置タイプ FVA-U4ST



据置薄型 FVA-U3SX



組込タイプ FVA-M2ST

株式会社新日本電波吸収体

代表取締役 荻野 哲 様

会社概要

電波吸収体とRFID関連に特化した開発型ベンチャーで、ETCゲート用やUHF-RFID用の電波吸収体を中心に各種の
 電波吸収体や電磁波シールド材、関連装置の開発・生産・測定など電磁波環境のトータルソリューションを展開しています。

当社の自慢

UHF-RFID用には電波吸収パネルの広帯域タイプ (MS-F050) と透明タイプ (MS-009T)、薄型タイプ (MS-009K)、ポリエ
 ステル布を導電加工したUHF電波シールドメッシュ (MS-PXF) や、PETフィルム基材の透明電磁波シールドフィルム (MS-
 PWT) 等多彩にラインナップしています。

UHF-RFID電波対策のエンジニアリングでは業界屈指の技術レベルを持ち、素材の開発・製造だけでなく、素材の選定、
 現場設置の設計・施工、電界強度測定まで、UHF-RFIDの通信環境に関わるトータルなソリューションを提供しています。



株式会社ナテック

IoT企画推進室 室長 山岸 智一様

会社概要

私達は、日本にまだ「カード社会」の到来が想像もされていなかった30年以上も前にカード製造事業に進出しました。未来のカード社会を支える志をもって一貫製造ラインを構築し、国際クレジットブランドの製造認定を取得。その高品質・ハイセキュリティな製造環境から時代のニーズに合った各種カードをご提供しております。今後はさらに様々なソリューションを開発・ご提供することによって、人々の豊かな暮らしに貢献し、カード社会の未来を繋ぐ企業でありたいと考えます。

当社の自慢

2017年にRFIDを主とした製品を本格的に取扱いする事業として「IoT企画推進室」を新設しました。磁気のエンコードやバーコードの印字であれば、数多くの商品を製造しておりますが、デジタル革命、パラダイムシフト…といった言葉が次々に取り沙汰される昨今、弊社にもここ数年のうちに、非常に大きな事業変革の波が打ち寄せるのではないかと予想しています。そこに対し、今後の「ものづくり」だけでなく、ソリューションや価値創造と言われるような「ことづくり」の分野にも大きく視野を広げていけたらと思っています。



NATEC
50th ANNIVERSARY

人材不足、省力化に
ICタグソリューション

RFID

RFID (ICタグ) できること	
製品管理の向上 品揃管理・在庫管理 検査履歴の記録	効率的な管理 高効率な作業の自動化
在庫削減 ライン稼働状況把握 リアルタイムで商品所在管理	ライン管理 シフトワーク制で従える化 ゲートアンテナで稼働を監視
作業品質向上 人為的なミス防止 作業効率の改善	作業改善 検品の一括チェック 入出庫の履歴
コストダウン 人件費の削減 印刷コスト削減	セキュリティ 個人認証製造情報の管理

未来をもっとつなげたい。
Connect the future



株式会社ブレイン

事業推進部 部長 多鹿 一良 様

会社概要

当社は1982年にパソコンショップとしてスタートし、「熟語変換ソフトの開発、ニュースセンター9時(NHK)のプロ野球経過速報、円相場速報表示システムの開発」を契機にシステムハウスとして発展してきました。

創業時より画像処理を得意とし、織物の設計図を実際の布のように画像でシミュレーションする、先染織物デザインシステム「TEX-SIM」は、地元兵庫県西脇の産地のみならず世界で利用いただいています。

また、近年はAIを活用した画像認識システムに注力し、複数のパンをカメラで一括識別する「BakeryScan」(ベーカリースキャン)を開発し全国のベーカリーショップへの導入を進めています。

当社の自慢

- ・トレイ上のパンを瞬時に一括識別するパン画像識別装置「BakeryScan」

国内のベーカリーショップでは、パンを個別包装せずに販売するスタイルが多く、値札やバーコードを貼り付けることができません。また、販売されるパンの種類は100種類にもおよぶため、新人の店員は商品名と価格を覚えるために1ヶ月以上を要していました。さらに、パンの精算にも時間が掛かりレジ待ち行列ができていました。これらの問題を解決するため、パンをカメラで識別する装置「BakeryScan」を開発し好評を得ています。

- ・画像識別エンジン「AI-Scan」(エーアイ・スキャン)を活用した展開

色や形状が曖昧なものを識別する技術を始め、接触分離、背景切り出し、自動学習など、これらの技術をパッケージした「AI-Scan」を活用し、理化学研究所 X線レーザー顕微鏡SACLAでの画像分類や、立体情報を用いて食事を識別し栄養素等を算出する「食事識別装置」を開発、提案を行っています。

今後も画像認識技術を中心に、お客様の課題解決をお手伝いいたします。



会社外観



ベーカリースキャン



食事識別装置

ご紹介した企業様の他に

株式会社エイジス様、伯東株式会社様、
株式会社LIFE様、エクサコンサルティング様にご入会いただいております。

平成30年5月末日現在の会員数は120社です。

平成30年度自動認識技術者 資格認定講習・試験について

平成30年度は下記の予定で自動認識資格認定講習・試験を実施します。

平成30年度

JAISA
Japan Automatic Identification Systems Association

自動認識技術者 認定講習・試験

IoTの実現に必須であり、
生活に必要な様々な分野で利用される
「自動認識 (Auto-ID) 技術」の
技術者を育成する、
国内唯一の資格制度です！



日程

自動認識基本技術者認定講習・試験

<バーコード / 2次元コード、RFID、バイオメトリクス、標準化>
自動認識の基本となる4つの科目を学びます！

- | | | |
|------|----------------|---------------|
| 第33回 | 7月6日(金)、7日(土) | 東京(早稲田大学理工学部) |
| 第34回 | 9月7日(金)、8日(土) | 大阪(マイドームおおさか) |
| 第35回 | 10月5日(金)、6日(土) | 東京(早稲田大学理工学部) |

RFID 専門技術者認定講習・試験

<自動認識基本技術者が RFID を深く学ぶための講習・試験です>

- | | | |
|------|--------------------|----|
| 第13回 | 平成31年2月7日(木)~9日(土) | 講習 |
| | 平成31年2月16日(土) | 試験 |
| | 東京(当協会会議室) | |



一般社団法人 日本自動認識システム協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7F
TEL.03-5825-6651 FAX. 03-5825-6653 E-mail: license@jaisa.or.jp

バイオ、ヘルスクア



試験の実施予定等の最新・詳細情報は当協会Webサイトにて公開しております。

<http://www.jaisa.jp/license/index.html>

自動認識市場規模調査報告書を発刊、配布

2017年1月～2017年12月の自動認識関連機器・サプライ・ソフトウェア等の出荷数量・出荷金額を調査した自動認識市場規模調査報告書を、2018年4月に発刊し、会員企業様及び関係団体様に配布いたしました。

本調査「自動認識システムの2017年出荷金額、2018年出荷予測」は、当協会会員企業様を中心にアンケート調査を行い、122社の回答を取り纏めたものであります。

2017年の自動認識機器市場の出荷金額は、2,391億円で2016年比0.2%増

2018年の自動認識機器市場の予測金額は、2,433億円で2017年比1.7%増

尚、報告書の内容は、配布いたしました報告書をご覧くださいませよう、よろしく願い申し上げます。また、当協会のWebサイト会員専用ページにも掲載しておりますことを、ご案内申し上げます。ぜひ、ご覧ください。

展示会開催のご案内

第20回自動認識総合展

会 期:2018年9月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00

展示会場:東京ビッグサイト 西ホール

〒135-0063 東京都江東区有明 3-10-1

第16回自動認識総合展 大阪

会 期:2019年2月21日(木)～22日(金) 10:00～17:00

展示会場:マイドームおおさか 1階展示場

〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋 2-5

出展申込み開始等の詳細は、当協会Webサイトや書面でお知らせいたします。

事務局 だより

本年5月23日開催の第8期総会において、新たな理事が任命されました。また、6月1日より専務理事が常駐になり、積極的に活動できるような体制となりました。総会懇親会で会長 春山 安成よりお話しさせていただいた自動認識技術を会員以外にPRする活動も展開して参ります。

市場統計について、総会懇親会で0.2%の伸びは少なすぎるとのご指摘は業界への叱咤激励と受取り、活性化しつつある市場への積極的な取り組みが期待されていると理解し、皆様のバックアップができればと考えております。

今期も積極的な広報広告活動や、啓蒙活動で自動認識の認知度拡大に努めますので、ご支援の程宜しく願い申し上げます。

